



神戸港の歴史、船の大切さ、船員さんの苦勞が分かった！ ～ 【出前授業】 はじめました ～

神戸運輸監理部及び海事関係事業者等で構成する神戸海事地域人材確保連携協議会[※]は、神戸市内の小中学校に海事に関する専門家を派遣して行う、海の【出前授業】を6月22、28、30日に実施しました。

※神戸海事地域人材確保連携協議会：学校教育と連携した海事教育を推進等に取り組むため、海事関係団体・企業が中心となり平成20年6月に設立。(会長：神戸大学海事科学研究科 広野准教授)

神戸運輸監理部は、将来を担う小中学生を対象に「海」や「船」に関する理解を深め、海事産業への興味を持ってもらうことを目的とした【出前授業】を重点的に取り組んでいます。

【出前授業】は、神戸開港150年を記念して神戸市みなと総局が全面改訂した教材「海と港が仕事の舞台」をもとに講演しています。

今年度、第1回の【出前授業】は、昨年度に日本海事広報協会主催の「ジュニア・シッピング・ジャーナリスト賞」の学校奨励賞を受賞した神戸市立妙法寺小学校に対し、6月22日の【出前授業】に続き、6月30日の「神戸港めぐり」に帯同し、港内遊覧船内で港と船に関する解説、さらに宮崎カーフェリーの船内探検(船橋、機関室、客室等)も行いました。

また6月28日には、灘小学校にて神戸港の開港から現在に至る大型の凶画・写真を使用し、150年の歴史を振り返り、港と船の重要性について解説しました。

○6月22日 神戸市立妙法寺小学校3年生(51名)

・講師：当運輸監理部 海事振興部長 川路 勉

○6月28日 神戸市立灘小学校3年生(58名)

・講師：神戸港振興協会 参事 森田 潔 氏

○6月30日 神戸市立妙法寺小学校3年生(51名)

・説明：当運輸監理部 海事振興部長 川路 勉 他



普段見られないフェリーの船橋

以下、寄せられた感想を紹介します。

- ・「船がないとコンビニの棚が空っぽになるなんて！」
- ・「大きな船が、少ない人で動かされててびっくり！」
- ・「鉄の船が沈まないのは不思議。」

当運輸監理部では、今後も学校教育の現場における海洋教育を推進するための教育プログラム(教育内容)、及び教材等の作成について検討して参ります。



150年の歴史を振り返る

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部
担当：筒井、西澤 電話：078-321-3149 (直通)